

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和5年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえ た事業内容の見直し	今後の 方向性	担当部署
1 最期まで自分らしく過ごす地域をつくる	1 障害者地域生活支援事業	障害のある人の自立した日常生活や社会生活のため、地域の特性や利用者の状況に応じ、日常生活用具の給付、権利擁護、手話等の通訳、移動支援等のサービスの提供等を行います。	⑩障害者の地域生活を支援するため、各種地域生活支援事業を実施した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩無し	⑩無し	維持	⑩社会福祉課
	2 居宅介護福祉用具購入費の給付・居宅介護住宅改修費の給付	自立した生活環境を整えるため、居宅介護福祉用具を購入したり、段差解消などの住宅改修を行う際に支援します。	⑪介護認定を受けた者へケアマネジャーがケアプランに基づき、福祉用具の購入や段差解消などの住宅改修を支援した。 福祉用具購入 262件 住宅改修 177件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪無し	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	3 食の自立支援事業	在宅のひとり暮らし高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように、安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施します。	⑪安否確認を兼ね、食生活に関する情報提供と配食サービスを実施した。 配食数 17,393食	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪利用者への栄養改善の指導方法等。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	4 認知症高齢者の見守り体制の強化	地域での認知症徘徊高齢者見守り体制を強化するため、「認知症サポーター養成講座」の開催や「わんわんパトロール隊」の設置、見守りシールの活用を推進します。	⑪民生委員、老人クラブ、市職員、中学生等幅広い対象に認知症サポーター養成講座を開催した。 ・認知症サポーター養成講座 6件 ・ステップアップ研修 3件  「わんわんパトロール隊」は狂犬病予防接種の機会を利用し、リーフレット等で周知活動を実施した。 わんわんパトロール隊 2件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後はステップアップ講座など、キャリアアップを目指した講座開催の必要性がある。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	5 緊急通報システムの貸与	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病等緊急事態に関する日常生活上の不安を解消するため、家庭用端末機・ペンダント型無線発信機または携帯端末型緊急通報装置を貸与します。	⑪緊急ボタンを押すだけで、安心センターと通話ができ、状況に応じて協力員や親族への連絡や救急車の出動を要請した。また、緊急通報以外でも看護師が生活や健康面での不安や悩み事ごとの相談を24時間365日体制で受け付けている。 実績 96人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪今後も単身高齢者の増加により、事業の必要性は高い。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
	6 救急医療カプセルの配布	65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布します。	⑪高齢者のみの世帯に、内服状況や現病歴などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙を入れる専用の容器（カプセル）を配布した。 配布数 125件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪医療機関情報や緊急連絡先等、本人の情報の更新が課題となっている。	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課
2 心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす	1 健康教育・健康相談の実施	市民の健康意識の高揚を図るため、「生活習慣病予防教室」や検診後の健康相談など、さまざまな健康教育を実施します。	⑫感染対策をとり工夫しながら、健康教育や健康相談等を実施した。 生活習慣病予防教室 3回1コース 参加人数 実人数28人 延人数53人 楽ラク筋トレ教室 4回1コース×2コース 参加人数 実人数36人 延人数118人 女性の健康づくり教室 1回実施 参加人数 26人 検診後の健康相談 9回実施 参加人数 56人 はつらつ健康教室 5回1コース 参加人数 20人 延人数71人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫健康教育に参加されない方に対する健康づくりの取り組みに向けた普及啓発。	⑫無し	維持	⑫健康推進課
	2 総合検診の実施	国民健康保険加入者の20～39歳対象の「フレッシュ健診」、40～74歳対象の「特定健康診査」、後期高齢者医療制度加入者対象の「後期高齢者健康診査」を実施します。 また、健診受診者に対し、早期からの生活改善を促し生活習慣病予防または重症化の予防を図るため、保健指導を行います。	⑬⑭総合検診（集団検診）を実施した。また、施設健診（個別健診）は、前年度引き続き実施期間を拡大して実施。 ・受診勧奨資材の活用や総合検診の実施もあり、みなし健診を含めた特定健康診査受診率、後期高齢者健康診査受診率の向上につながった。 特定健康診査 2,728人 （前年比74人増） 後期高齢者健康診査 946人 （前年比166人増） 健康診査 20人 フレッシュ健康診査 72人 （前年比4人減少）	△計画より遅れている	⑬⑭ ・受診率は低迷している状況。 引き続き、受診率向上に取り組んでいく必要あり。 ・施設健診の受診者が増加している状況を踏まえ、総合検診の実施会場や実施期間の集約を検討していく必要あり。	⑬⑭ ・感染対策を講じた健診実施は継続し、総合検診は予約制で実施。 ・広報誌等での呼びかけやAIによる特定健診受診率向上事業による勧奨を続けることで受診率向上を図る。	維持	⑬保険年金課 ⑭健康推進課
	3 各種検診の実施	がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診を実施し、各疾患の早期発見に努めます。	⑫総合検診（集団）を実施し、結核・肺がん検診・胃がん検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診を同時実施した。 子宮がん（施設）検診は、安房地域医療センターが追加になり7医療機関で実施した。  肺がん検診 3,813人受診 （昨年度比19人増加） 胃がん検診 920人受診 （昨年度比33人増加） 骨粗しょう症検診 266人受診 （昨年度比35人減少） 大腸がん検診 3,816人 （昨年度比17人減少） 成人歯科検診 68人受診 （昨年度比7人増加）	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫総合検診と同時実施する検診では、感染症対策のため集団での実施体制では予約制で実施。受診率向上に向けた取り組みが必要。	⑫事前予約、受付時間の設定で実施。	検討	⑫健康推進課
	4 地域リハビリテーション活動の支援	リハビリテーション専門職等が行う介護予防の取り組みを総合的に支援し、介護予防の機能強化を図ります。	⑪通いの場にリハ専門職が関わり、介護予防の推進を図った。 老人クラブ 3件 サロン等 11件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑪近隣のリハ専門職等の連携	⑪無し	維持	⑪高齢者支援課

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和5年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
3 子育てしやすい地域をつくる	1 子ども医療費の助成	0歳から中学校3年生までの子どもにかかる医療費（保険適用）の一部を助成します。	⑬令和5年8月診療分から、医療費の助成対象年齢を高校3年生相当まで拡充した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	2 ごんには赤ちゃん事業	生後3～4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行い、支援が必要な家庭について適切なサービス提供につなげます。	⑭令和5年10月から訪問員を主任児童委員及びオレンジ（子ども家庭支援センター）職員に依頼して実施した。 訪問員の訪問件数 7件（8%） 保健師の訪問件数 80件（92%） 全体の訪問件数 87件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑭出生数が減少傾向にあるが、乳児の子育て環境や母子の心身の状況把握等のため、全戸訪問は継続実施する必要がある。	⑭令和5年度から主任児童委員及びオレンジ（子ども家庭支援センター）職員による訪問を開始した。来年度以降も同体制で実施する予定。	維持	⑭健康推進課
	3 妊娠期からの育児支援	健やかな妊娠・出産を実現し、安心して育児ができるよう、「両親学級」と「離乳食教室」を実施し、妊娠期から乳児期における育児支援を行います。	⑮両親学級（妊婦対象）実施。 妊婦を対象に年6回実施。参加妊婦34人 内容2種類実施（①沐浴、赤ちゃんの世話②妊娠中の過ごし方等） 産後の教室は、産後ケア事業（集団）として実施した。年4回実施、参加人数10組 離乳食教室は、年6回実施。参加者数47組。 1回は台風により中止。また、4・9か月児相談の際には離乳食の展示を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑮令和5年度から各種事業を再開した。今後も事業の継続実施が必要であるとする。	⑮離乳食教室について、対象・実施内容を見直し、令和5年度から再開した。	維持	⑮健康推進課
	4 ファミリー・サポート・センター事業	地域における育児の相互援助活動として、仕事との両立や子育て中の方の育児支援を行うため、援助を受けたい人と、援助ができる人を適切につなぎ、結びつけます。	⑯利用実績（延べ件数） 91件 子どもの送迎や、片親家庭への支援が多かった。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯援助ができる人を各地区に増やしていく。	⑯無し	維持	⑯子ども教育課
	5 発育発達支援事業	乳幼児健診や相談、「にこにご教室」等で、発育発達に心配がある子どもを対象に、専門家の助言を受けながら小集団での遊びの場「きらりんくらぶ」などにつなげます。	⑰利用実績（延べ人数） きらりんくらぶ 328人 ことばの相談 111人 幼児相談 24人 リハビリ個別相談 14人 「乳幼児健診」や「にこにごひろば」、「にこにご教室」、「移行期支援会議」の様子から発達に心配がある子どもを「個別相談」や「きらりんくらぶ」に繋げることができた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑰引き続き、保健師、教育相談センター、子ども園、支援学校、病院などとの連携を大切に、早期発見、早期認知、早期療育ができるようにしていきたい。	⑰無し	維持	⑰子ども教育課
	6 児童遊園や公園の管理・整備	児童遊園や公園の管理や整備を行います。	⑱旧南三原小学校等跡地公園整備工事を令和5年度から令和6年度の継続事業で実施中。 また、旧平群小学校等跡地整備工事実施設計業務が完了した。（令和6年度に工事発注予定） ⑲児童遊園すべての遊具点検を実施した。点検の結果、北千倉児童遊園4連ブランコ揺動部取替修繕、北千倉児童遊園3間鉄棒更新、小戸児童遊園引込柱更新、矢原児童遊園ブランコ撤去を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑱無し ⑲児童遊園については、引き続き遊具点検を実施し、安全対策を行うとともに、老朽化した遊具の撤去や行政区と協議し廃止するか検討していく。	⑱無し ⑲児童遊園に手洗い等ないところが多い。遊び場の確保では子ども園の園庭開放で対応していきたい。	⑱維持 ⑲縮小	⑱-2 学校再編整備課 ⑲子ども教育課
	7 校庭・園庭の一般開放	地域の子どもの遊び場、市民の健康づくりやコミュニティの場として、小学校、子ども園および幼稚園の校庭・園庭を開放します。	南房総市学校施設の開放に関する規則の規定に基づき実施した。	☆目標達成（事業完了）	⑳無し	⑳無し	維持	⑳-1 教育総務課